

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第 294 回 長嶋伝説は、永久に不滅です！

2009.1.18

先日、春風亭小朝の独演会に行ってきた。古典落語をこれほど達者に話せる噺家は、少なくなった、現代落語界のホープである。その「まくら」(落語の導入部分)の中で、長嶋監督のエピソードがあったが、(六代目圓生流に...)実にこれが、また、愉快である。まずは紹介したい。

長嶋が初めて巨人の監督になった時の記者会見で、その感想を聞かれた。

「巨人軍の監督就任、いかがですか？」

「はい、これで毎日、巨人戦が見られます」

初めて長嶋にインタビューできることになった、新人女子アナウンサー。少し興奮気味で...

「監督、私監督と誕生日が同じなんです」

「そうですね、で、誕生日はいつですか？」

(以上、春風亭小朝の独演会にて)

長嶋監督は天真爛漫、おおらかそのもので、エピソードに事欠かないようだ。小生、長嶋が嫌いという人、あまり知らない。小生自身、長嶋がいたから未だに巨人ファンクラブの会員。恐らく、日本人から最も愛された人の代表かもしれない。今回は「文化功労者・長嶋茂雄」のエピソード、まとめてみた。

【学生時代の長嶋監督】

立教大学での卒業試験で

「I live in Tokyo. を過去形にしてください」という問題。

長嶋の回答、「I live in Edo.(私は江戸に住んでいます)」 (...正解は「I lived in Tokyo.」...)

授業で近くの席の学生の英和辞典を「君、便利な本を持っているね。それ何ていうの」と聞いた。立教大学での卒業学部を聞かれ「野球部」と言い切った。

【現役時代の長嶋監督】

新人の年、ホームランを打ったが一塁ベースを踏み忘れ、3割30本30盗塁を逃す。

三振の時、ヘルメットを豪快に飛ばす練習をしていた。

ヒーローインタビューにて。その日、長嶋選手は、4打数4安打と当たりまくってた。

インタビュアー「すごい固め(かため)打ちですね」

長嶋選手「いやー、ちゃんと両目あけて打ってましたよ」

幼児の一茂を球場に連れてきたくせに、帰りに忘れてきた。帰宅後「どこかで遊んでるんじゃないの？」球場からの電話で思い出す。

他人の 100 円玉を持ち帰り、後日 「ごめん、俺の 100 円玉によく似ていたから」

試合後「メガネがない」と大騒ぎ、周りの選手も大騒ぎ、王さんのウインドブレーカーの中から出てくる。実は、試合前に王さんのウインドブレーカーを着ていた。

試合終了後、長嶋さんが

「車のキーがない。確かズボンのポケットに入れていたはずなんだけどなあ」と大騒ぎ。

選手総出で探す結局見つからず。

長嶋さんに「どうしても見つかりません。今日はタクシーで帰ったらどうですか」と言ったら、一言「あ、今日はタクシーで来たんだって」

アメリカ ベロビーチでの春季キャンプで、周りの少年達に話し掛けられて一言、

「こっちの子供は英語がうまいなあ〜」「こっちは、外車ばかりだねえ。さすがアメリカだ」

アメリカでマクドナルドを見て、「アメリカにも進出しているんだ」

試合直前、ユニホームに着替えているとき、何かせわしなく動いている長嶋を見て、横の選手が「どうしました？」と訪ねた。

「あー、ストッキングが片方無くてねえ」と、答える長嶋。

みんなと一緒に探し始め、しばらくして、

片方の足に2足のストッキングを履いていることに気付いた。

肉離れになったとき 「ミートグッバイ」

レストランにて鶏肉を頼むとき 「アィム チキン」

王さん曰く「宇宙人」

【監督時代の長嶋監督】

記者たちから今季の選手の調子を尋ねられて

監督「そうですねー、最近インフレがはやってますからね〜」

(...言うまでもなく、正しくは「インフルエンザ」である...)

バントの格好をしながら審判に代打を告げる 「バント！土井！」

「ピッチャー阿波口」 ブルペンの阿波野と川口が大あわて。

「代打！後藤！」しかし後藤は代走で出ていた。

長嶋、「吉村君、次、代打でいくよ！」

吉村、ネクスト・バッターボックスで、準備よろしく素振りをしていた。

長嶋、おもむろに出て行って、審判に、「代打、元木！」

「ゴルフ場はこの道の右側にあるんだ」しかし見つからず、途中で「左側だった」と思いだし道をUターン。しかし左側を探し続けたためゴルフ場にはたどり着かず ~そりゃ、そうだ！

遷曆祝賀会での挨拶、「はじめての遷曆を迎えまして、ましてや年男と言うこともありまして...、今度、再び遷曆を迎えるまで監督を続けます」

ホテルに泊まるとき、職業欄には「長嶋茂雄」
スピード違反で警察の職務質問にも職業「長嶋茂雄」

【浪人時代】

少年野球のコーチに行った長嶋さん、参加したチームの中に「赤井　　ズ」というチームがあり、各選手の背中に「AKAI」というローマ字が入っていた。それを見た長嶋さんは一言「このチームには赤井君しかいないのか」（...実は、赤井電機協賛のチームだった...）

営業時間前の風呂屋に行き「おじさん大変だね、客が1人もいないじゃないか」
「やっぱり肉が一番好きだけど、最も魚が好きです。」

セコムのCM やってるのに泥棒に入られる、翌日、株価大暴落。

コラムとしては、少し長くなりすぎた。いやはや、長嶋伝説はキリがない。
正に、「長嶋伝説、永久に不滅です！」
最後に、長嶋特有の二重言葉「長嶋語」で、締めくくることとする。

二重言葉「長嶋語」

- 夢のドリームゲーム
- 1年目のルーキー
- 今年初めての開幕戦
- 体験を経験にして
- 疲労からくる疲れ
- パースデー誕生日を祝い
- 秋の秋季キャンプ
- 今日が始まりのスタートです
- 我、巨人軍は永久に不滅です
- 打率のパーセンテージ
- ブルーな青空

(以上:参照 <http://2chart.fc2web.com/cho.html>)